

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	実施時期	曜日	時限	定員	授業時間
食とアレルギー	林 典子	後期	金	1	若干名	1限 9:00~10:30
食品機能論	中村 禎子		火	5		2限 10:40~12:10
食医学	辻 典子		火	2		3限 13:00~14:30
表現活動(応用)	狩野 浩二 他		金	3		4限 14:40~16:10
日本文学史C	小林 実		火	2		5限 16:20~17:50
日本語学研究A	星野 祐子		金	2		

※上記時間割は6月20日現在のものです。

今後、急な時間割変更が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は9月16日(金)から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

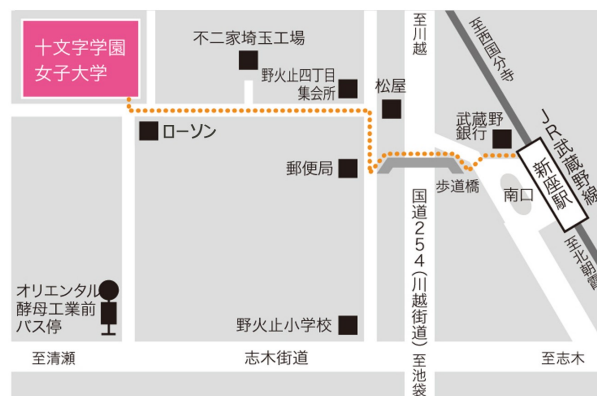
(2) 場所

十文字学園女子大学

〒352-8510 新座市菅沢2-1-28

[アクセス方法]

- JR 武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分
- 東武東上線「志木駅」下車、「清瀬駅北口」行きバスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分
- 西武池袋線「清瀬駅」下車、「志木駅南口」行きバスで「オリエンタル酵母工業前」下車、徒歩5分



※駐車場のご用意が出来ませんので、公共の交通機関でのご来校をお願いいたします。

2 受講料等

(1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

(教科書については第1回目の授業で担当教員から説明があります。)

※一旦納入された受講料につきましては、お返しができませんので、あらかじめご了承ください。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和4年8月20日(土) (消印有効)

(2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28
 十文字学園女子大学 地域連携推進課
 電話: 048-477-0958 (直通)

(3) 申込方法

官製はがきに以下の事項を**もれなく**記入の上、郵送でお申込みください。

- (1) 住所
- (2) 氏名ふりがな
- (3) 性別
- (4) 年齢 (令和4年4月1日現在)
- (5) 電話番号
- (6) 受講希望科目・担当教員名 (何科目でも可)

※申込後に、都合により受講できなくなった場合はお早めにご連絡ください。

(4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。(受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。)

(5) その他

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の感染拡大状況によっては、受講生の受け入れを中止する場合があります。
- ・本学が示す感染防止対策にご協力をお願いします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

食とアレルギー (林 典子准教授)	昨今、食物アレルギーをもつ方が増えています。食物アレルギーの疫学、症状、診断、アレルゲン (原因食物) の特徴、食物除去の考え方、食物アレルギー患者を取り巻く社会的環境等について学習します。 【参考書】 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き (食物アレルギー研究会 (https://www.foodallergy.jp/)よりダウンロード可)
食品機能論 (中村 禎子教授)	食品の機能性の探索や機能性を具備した食品開発は、我が国のみならず国際的にも関心が高い分野です。食品の機能性はその安全性を同時に考える必要があります。本講義では、具体的な実験データなどを提示して食品の機能性と生活習慣病を中心とする疾病との関連性を概説します。また、リスク分析を学び、食品の安全性と機能性の理解を深め、自ら判断する力を身につけられるように学習します。

<p>食医学 (辻 典子教授)</p>	<p>私たちは「食べる」ことで生命と心身の健康を維持しており、近年注目を集める腸内環境も、長年親しんだ食文化に応じて地域ごとに形成される側面があります。個々人においては、ストレスなど生活から誘発された腸内細菌叢と生体恒常性の乱れが、肥満、糖尿病、認知症など多くの疾病とも関連する可能性が示されています。そのような社会背景のもと、科学的根拠に基づいた食生活のデザイン、それを可能とする様々な食材の開発やヘルスマonitoringの価値はますます高くなっており、本講座では日本食の利点も整理しつつ、ひとりひとりにとって理想的な、また地域と地球にも優しい食とは何かを考える構成とします。</p>
<p>表現活動 (応用) (狩野 浩二教授・ 久保田 葉子准教授)</p>	<p>将来、小学校教員を目指す学生 (1年次) 向けに開講します。前期の「基礎」を未受講でも参加可能です。学生とともに、総合表現「かたくりの花 (横須賀薫作詞、梶山正人作曲、一莖書房)」を練習し、発表 (地元小学校等) します。朗読や歌唱、身体表現の楽しさを味わいます。教材はプリントして配布します。</p>
<p>日本文学史C (小林 実教授)</p>	<p>明治から昭和にかけての小説を中心とする文学史を学びます。教科書の内容を基本とし、さらに専門的な事柄を講義します。教養として知っておきたい作家や作品を紹介しながら、それらの時代背景、メディアの仕組み、文壇形成の条件など、「文学史」を多角的に学ぶことを目的としています。【テキスト】『原色 新日本文学史 (増補版)』文英堂</p>
<p>日本語学研究A (星野 祐子准教授)</p>	<p>日本語を母語としない方に日本語を教えるための文法知識を身につけます。多くの問題を解き、日本語の様々な文法事項について、その法則を理解していきましょう。また、学校で学んだ「国文法」との違いも考えていきます。テキストは『考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法』(スリーエーネットワーク)を使います。</p>